

メ-カ- NBT

## 抗ヒトインスリン モノクローナル抗体

本抗体はヒトインスリンをBALB/Cマウスに免疫し得た脾臓細胞とマウスミエローマ細胞(P3U1)とをポリエチレングリコール法により融合し作製されたハイブリドーマをマウス腹腔へ移植することにより得たマウスモノクローナル抗体です。

抗原 : ヒトインスリン

特性 : 次表に示す

Cat No  
MYO-201

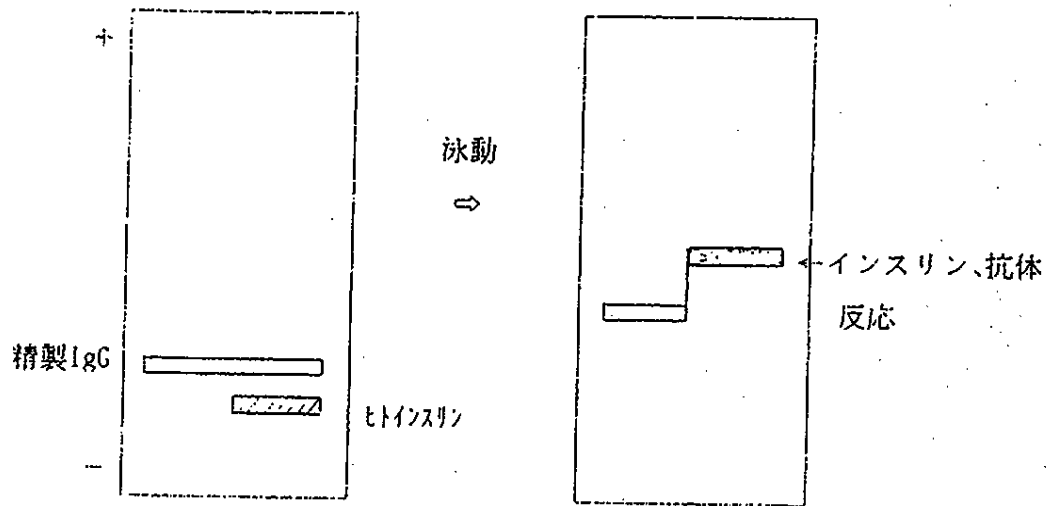
クローンNo.	サブクラス	抗体力価*
Y0-201	IgG1	$4.5 \times 10^4$
202	IgG2a	$6.5 \times 10^4$
203	IgG2a	$6.8 \times 10^4$
204	IgG2a	$8.8 \times 10^4$
205	IgG2b	$5.8 \times 10^4$

\* 抗原固相化プレートを用いたELISA法により得た1mg/mlの抗体希釈倍数  
(O.D. 0.1の値)

内容 : 10mMPBS pH7.4(0.1%NaN<sub>3</sub>)にて1mg(1mg/ml)に調整してあります。

保存法 : 本製品は、4℃にて保存して下さい。

抗ヒトインスリンモノクローナル抗体の  
セルロースアセテート膜電気泳動図



5種のモノクローナル抗体はいずれも抗体バンドが吸収され消失し、ヒトインスリンと反応していることが確認された。